

2019年産情報

- 山形 いよいよ2019年産で育苗のための種子消毒準備が始まっています。
ばか苗病への注意喚起と土づくりに対するアドバイスが農協から発せられています。
まだまだ寒い中で春への備えが進んでいます。
- 石川 新品種ひやくまん穀の作付け面積を昨年から倍増して1200haに拡大するそうです。
これで出荷予定数量は7000トンになります。

玄米食の人気が出る？

先週話題になった元AKBメンバーの玄米婚。

「玄米を食べて育った」というコメントがあちこちで取り上げられていました。

日常的に食べるのは慣れないと難しいかもしれませんが、普通の玄米よりも吸水しやすく加工された玄米があります。選別機を通して表面にキズをつけています。

水加減は釜に目盛りが無ければお米の1.5倍を目安にしてください。

塩を少し入れると食べやすく炊き上がります。



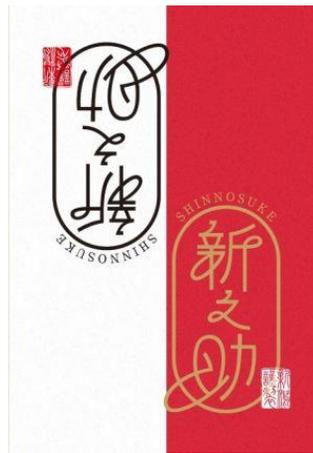
30年産 (2018年産)
長野県産あきたこまち2kg

今週の玄米入荷情報

- 新潟 コシヒカリ 長岡特裁
群馬 雑銘柄(未検査)
福島 中通ひとめぼれ
宮城 つや姫 特別栽培
岩手 ひとめぼれ 前沢限定
新潟 新之助
佐賀 さがびより
北海道 ゆめぴりか
新潟 魚沼コシヒカリ 十日町
長野 特Aコシヒカリ 飯山
秋田 あきたこまち やまもと
佐賀 夢しずく 唐津特裁
山形 雪若丸
栃木 あさひの夢
福島 会津コシヒカリ HG
茨城 コシヒカリ
栃木 コシヒカリ
千葉 ふさがね
千葉 ふさおとめ
青森 まっしぐら
福島 ミルキーQueen

秋田でも・・・美味しい新品種

秋田県でもコシヒカリを超えるような良食味の新品種開発が進められていますが、2016年に800系統から始めた開発が「秋系821」という一つの候補にまで絞り込まれたようです。
あきたこまちを超えるトップブランドに位置付けるそうで、2022年までに市場デビューを計画しています。



30年産でも評価の高かった新之助。
ここにきて引き合いが増えていきます。
他の新品種が品薄になってきたこともあって、再度人気商品として浮上してきました。
特に冷めてからの食味が好感を持たれていると聞きます。
新之助のコンセプトにもある「炊飯後、時間をおいてお米を食べることも多くなっているという現代～」にマッチしているのでしょう。

数量限定で用意いたしました「多古産」のふさおとめ・ふさがね。
現状の在庫限りとなります。
お早目のご注文が吉です。